

市之川公民館だより 令和5年12月号 (No.600号)

〒793-0037 西条市市之川6678-1 市之川地区人口「10月末現在」
 Tel・Fax (0897) 56-3300 人口 9人(男4人・女5人)
 eメール ichinokawa-k@saijo-city.jp 世帯数 6世帯
 ※ 西条市市之川公民館だよりで検索するとカラー版がご覧になれます。

12月 師走(しわす)

11月に入っても暖かい日が続いていましたが、中旬に入り一気に冬の訪れを感じるようになりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

公民館の『イチョウ』の木もやっと色づき始めました。

11月18日には公民館に雪が降りました。『いよいよ冬本番です。』
 コロナ対策はもとより、インフルエンザにもお気をつけ、皆さん、お元気にお過ごしください。

《12月の行事予定》

| 日 | 曜 | 行事・時刻・場所 |
|----|---|------------------|
| 9 | 土 | からおけ会 10:00～ 集会室 |
| 23 | 土 | からおけ会 10:00～ 集会室 |

※ 西条市社会福祉協議会市之川支部から



10月31日(火)に公民館へふれあいベンチを設置しました。公民館へお越しの際は、ご自由にお使いください。



※ 飯岡公民館総合文化祭に参加(11月5日(日))

今回の飯岡総合文化祭では鉱物に興味を持ってもらうことを目的に、『石割体験コーナー』を設置。水晶ジオード割りや磁鉄鉱から砂鉄を取り出すなど、新しい試みを行いました。また、芸能発表会では市之川地区の歴史や市之川鉱山について講演を行いました。



市之川地区の歴史や市之川鉱山についての講演。



割ったジオードの比べっこ。



ありました！ジオードの中はキラキラと輝く水晶。

【石割体験の参加者】
 水晶ジオード割り 37名。
 磁鉄鉱割り(砂鉄取り) 19名。合計56名。
 体験コーナーを設置するにあたり、西条高校科学部の生徒5名にご協力を頂きました。皆さん、ありがとうございました。

西条高校商業科『輝安KOU房』の活動状況報告。



西条高校商業科『輝安KOU房』の生徒14名による輝安鉱を材料としたワークショップ。



※ 女性学級



11月11日(土)に花壇づくりを行い、12日(日)にチューリップの球根を植えました。来年の春が楽しみです。

※ 令和6年西条市二十歳の集い（旧成人式）について（お知らせ）

令和6年西条市二十歳の集いが下記のとおり開催されます。地域別の2会場開催となりますのでご注意ください。

- | | | |
|---|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 日時 | 令和6年1月7日（日） ＜受付＞ 10時00分～ ＜式典＞ 10時30分～ |
| 2 | 場所 | 総合文化会館（西条市神拝甲79番地4） ※東予・丹原・小松地域の方は丹原文化会館（式典：13時30分～）での開催となっております。 |
| 3 | 対象者 | 平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの方 ※市内に住民票がある方には12月上旬に案内状を送付します。 ※進学・就職等で市内に住民票がない方も西条市の成人式に出席できますので、希望される方は下記までご連絡下さい。 |
| 3 | 問合せ 連絡先 | 西条市教育委員会 社会教育課 社会教育係 電話0897-52-1254（係直通） |

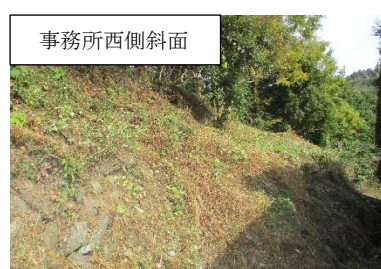
※ 水源地の清掃

10月31日（火）教育委員会（社会教育課）の職員2名が水源地の清掃に来てくれました。水源地内にはかなりのヘドロが溜まっていましたが、これで公民館の水も気持ちよく使用できます。次回は2月下旬の予定です。



※ 公民館周辺の除草

11月14日（火）・16日（木）と公民館周辺の除草作業を行いました。すっきりした公民館。皆さまのお越しをお待ちしております。



グラウンド西側

事務所西側斜面

千荷坑周辺

2023年11月10日

～毎月10日は人権を考える日～

生活の中で「自分の思いこみ」について見直そう

未来の世の中を作っていく子どもたちに、ぜひとも人権感覚を身につけてほしいものです。そのために、子どもたちと接する私たち大人が、日々の生活の中で子どもたちに正しいことを伝えていかなければなりません。

お笑いコンビ「髭男 爵」の山田ルイ53世さんは、兵庫県出身です。中学2年の夏休みから6年間ひきこもっていたそうです。それまでは、中高一貫の難関中学で何事もきちんとこなしていました。それが突然ひきこもりになってしまったのです。その頃のことをこうおっしゃっています。「ひきこもりの人って暇だと思われがちですが、頭の中はめちゃくちゃ忙しくて1日が終わる頃にはぐったり疲れ果てていました。」それまでひきこもりの人は、さぞかし時間を持て余しているだろうとか、あれだけ時間があつたらいろんなことができるだろうなどと考えていた私は、相手の立場に立っていない人間だったのだと反省しました。この山田ルイ53世さんは、ひきこもりの後、大検を受けて愛媛大学に入学し、学生時代に近くの短大の学園祭で漫才をしたことがきっかけで、現在の職業についたそうです。（公益財団法人 人権教育啓発推進センター「アイユ」2023年9月号より）

私の母は、杖をついて移動し、車いすも使用しています。先日、自治会の研修旅行の案内があり、私は、母は行けないという返事をしていました。ところが、母の友達から連絡が入り、誘われたから行くとのこと。私は勝手に、「バスには一人で乗れないから迷惑をかけるだろう。トイレに行くのも困るだろう。」と考えて断っていたのです。母も私と同じ考えだと決めつけていました。本人に確かめるべきでした。

お祭りの時に2種類のスナック菓子の袋があつたので、青っぽい袋を男の子に、ピンクの袋を女の子に配りました。何気なくいつものように配ったのです。すると、子どもたちは、「青いのがいい。」「ピンクがいい。」と言って交換し始めました。これも、「男の子は青、女の子はピンク」という私の思いこみだったのです。

このように、自分がこれまで当然だと思っていたけれど、他の人は違う考え方をしていることがたくさんあります。それについて深く考えてみることはありませんでした。自分の考えていることは、すべての人にも当たり前のことだと思ってきました。しかし、よく考えてみると自分だけが当たり前だと思こんでいるものが、たくさん混じっているようです。そのことについて、見直しをしてみませんか。

自分の中に潜む無意識の思いこみ（アンコンシャスバイアス）を見直していきましょう。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課